

平成25年度

事業報告書

公益財団法人 沖縄県畜産振興公社

平成25年度 事業報告

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

1 事業内容

〈 総 括 〉

平成25年度は、政府によるアベノミクス効果により、日本経済が緩やかな景気回復基調に推移した一年となった。その効果は、畜産業界にも波及し、牛・豚の枝肉価格及び肉用子牛価格は堅調に推移した。

畜産物価格については、肉用子牛の取引頭数25,274頭となり前年度を下回ったが、平均取引価格は約473千円で、前年を上回り好調に推移した。また、豚価の平均価格は、435円と前年の395円上回り、高値で推移し、年間を通じて補てん金の発動はなかった。

しかし、一方でTPP交渉が畜産業界にとり厳しい状況であることには変わりなく、今後とも動向を注視していく必要がある。

このような経済情勢の中、当公社運営の基本である、基金運用による果実収入は、円安により一部外債の利回りが上昇に転じ、運用収益が増加したものの、ゼロ金利政策による預金の低金利が続いていることもあって、厳しい運営状況である。

事業部門においては、平成25年度も、国、県及び独立行政法人農畜産業振興機構等による支援の下、肉用牛対策、養豚対策及び消費拡大対策等の事業を積極的に実施してきた。

事業毎に、事業別内訳をみると、「家畜・畜産物の価格安定事業」の事業費は348,503千円であり、畜産物の価格が高値で推移したため、肉用子牛生産者補給金制度では、乳用種のみで発動があり、交付額は224千円であった。また、肉用牛肥育経営安定特別対策事業では、交雑種のための発動で、交付額は716千円であった。養豚経営安定事業の積立金支出等で320,877千円、その他推進事業費で26,686千円であった。

「家畜・畜産物の生産振興、流通合理化、消費促進事業」は、沖縄食肉価格安定等特別対策事業を実施し、食肉等流通合理化施設整備、肉用牛及び肉豚の生産基盤改善対策、食肉等需要開拓対策の諸事業を実施し、その事業費は4,122,704千円であった。

「家畜・畜産物の改良及び需給調整事業」は、県産食肉等消費促進支援事

業及び県農林水産物販売促進協議会負担金支出を行い、特に初めての試みとして、「まーさんフェスティバル」を県畜産共進会と同時開催で実施し、その事業費は、22,115千円であった。

「畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業」の事業費は461,899千円であり、その内訳は、沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業は、家畜市場の活性化を図るため、購買者に対する購買助成、肉用牛ヘルパー利用組合等の活動経費に対する助成等を実施し、448,406千円の補助金を交付した。

畜産経営技術改善指導事業、貸付事業推進等事業、畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調整委託事業は、沖縄県からの委託事業で県畜産経営体の経営診断分析や、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業であり、その事業費は6,821千円であった。

その他、口蹄疫や豚コレラ等の伝染病発生時の互助基金である家畜防疫互助基金造成等支援事業984千円、畜産特別資金借受者への推進指導事業である畜産特別資金推進指導事業2,355千円等を実施した。

＜事業別概要＞

1. 家畜・畜産物の価格安定事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度

1) 肉用子牛生産者補給交付金

223,500 円

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づいて、肉用子牛の価格が保証基準価格（黒毛和種 320,000 円、乳用種 122,000 円、交雑種 188,000 円）を下回った場合に肉用子牛の生産農家に対し生産者補給金を交付すること等により、肉用子牛の生産及び価格の安定を図りもって肉用牛経営の健全な発展に資するための事業である。

平成 25 年度は、黒毛和種と交雑種については、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付には至らなかった。

乳用種については、25 年 1 月～3 月、4 月～6 月の 2 期連続、その他の肉専用種については、25 年 1 月～3 月が保証基準価格を下回り補給金の発動があった。

なお、肉用子牛の 1 月から 12 月までの個体登録頭数は、黒毛和種は 21,680 頭、乳用種は 54 頭、交雑種は 371 頭、合計 22,105 頭となっている。

事業の実績は、下記のとおりである。

ア 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	繁殖	酪農	一貫	哺育	合計
個人	2,523	42	11	3	2,579
農協					
農協連					
農事組合法人	4				4
株式会社	1			1	2
有限・合名・合資会社	31		2		33
民法法人	1				1
合計	2,560	42	13	4	2,619

イ 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数	備考
総合農協	1	(支所等 13 力所)
専門農協	1	
農協連		
その他	2	熊本県・佐賀県
合計	4	

ウ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	平成 25 年 1 月 1 日～ 3 月 31 日	平成 25 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日	平成 25 年 7 月 1 日～ 9 月 30 日	平成 25 年 10 月 1 日～ 12 月 31 日	平成 25 年 1 月～12 月 合 計
黒毛和種	5,459	5,292	5,203	5,726	21,680
乳 用 種	7	25	16	6	54
乳交雑種	41	114	150	66	371
合 計	5,507	5,431	5,369	5,798	22,105

エ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品 種 区 分	保証基準価格	合理化目標価格	備 考
黒 毛 和 種	3 2 0 , 0 0 0	2 7 3 , 0 0 0	
褐 毛 和 種	2 9 2 , 0 0 0	2 5 1 , 0 0 0	
その他の肉専用種	2 0 9 , 0 0 0	1 4 4 , 0 0 0	
乳 用 種	1 2 2 , 0 0 0	8 6 , 0 0 0	
乳 交 雑 種	1 8 8 , 0 0 0	1 4 2 , 0 0 0	

オ 指定肉用子牛の規格

肉 用 子 牛 の 種 別	体 重	
黒 毛 和 種	2 5 0 キログラム以上	3 2 0 キログラム以下
褐 毛 和 種	2 6 0 キログラム以上	3 3 0 キログラム以下
無 角 和 種	2 0 0 キログラム以上	2 7 0 キログラム以下
日 本 短 角 種	2 0 0 キログラム以上	2 8 0 キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	2 6 0 キログラム以上	3 1 0 キログラム以下
ホルスタイン種（雌を除く）	2 5 0 キログラム以上	3 3 0 キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	2 6 0 キログラム以上	3 2 0 キログラム以下

カ 平均売買価格

(単位：円)

区 分 \ 品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
平成25年1月1日～3月31日	452,700	401,800	170,800	105,400	241,200
平成25年4月1日～6月30日	471,400	411,100	244,000	120,300	265,000
平成25年7月1日～9月30日	494,600	427,500	209,400	131,600	285,300
平成25年10月1日～12月31日	538,900	447,000	320,400	144,900	333,500

※平均売買価格は、農林水産大臣の指定する家畜市場における指定肉用子牛の四半期毎の平均価格

キ 生産者積立金造成内訳

品 種	区 分	契 約 頭 数	積 立 単 価	積 立 所 要 額	負 担 区 分		
					農 畜 産 業 振 興 機 構	沖 縄 県	生 産 者
黒毛和種	1～12月	頭 21,680	2,200	円 47,696,000	円 23,848,000	円 11,924,000	円 11,924,000
乳用種	1～12月	54	12,700	685,800	342,900	171,450	171,450
乳交雑種	1～12月	371	5,000	1,855,000	927,500	463,750	463,750
合 計		22,105	—	50,236,800	25,118,400	12,559,200	12,559,200

参 考

1. 負担区分：機構 1/2，県 1/4，契約生産者 1/4
2. 契約生産者の1頭あたり積立金額：

区 分	負 担 金	備 考
黒 毛 和 種	5 5 0 円	
乳 用 種	3 , 1 7 5 円	
乳 交 雑 種	1 , 2 5 0 円	

ク. 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位:円)

保証基準価格の品種区分 区 分			黒 毛 和 種	乳用種	乳交雑種	合 計
I 期 首 残 額	1 生産者積立金		248,124,918	2,344,650	2,780,000	253,249,568
	2 生産者積立準備金					643,281,206
	内	3 生産者の負担金充当分				407,403,084
		4 都道府県の生産者積立助成金充当分				235,878,122
		5 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分				0
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	6 生産者積立金純増加額 (9+12+15+18)		24,849,550	342,900	935,000	26,127,450
	7 生産者積立準備金からの繰入額 (10+13+16)		22,846,450	342,900	920,000	24,109,350
	8 計		47,696,000	685,800	1,855,000	50,236,800
	内	9 負 担 金	1,001,550	0	7,500	1,009,050
		10 生産者積立準備金3からの繰入額	10,922,450	171,450	456,250	11,550,150
		11 小 計	11,924,000	171,450	463,750	12,559,200
	都道府県	12 生産者積立助成金	0	0	0	0
		13 生産者積立準備金4からの繰入額	11,924,000	171,450	463,750	12,559,200
		14 小 計	11,924,000	171,450	463,750	12,559,200
	農畜産業振興機構	15 生産者積立助成金	23,848,000	342,900	927,500	25,118,400
		16 生産者積立準備金5からの繰入額	0	0	0	0
		17 小 計	23,848,000	342,900	927,500	25,118,400
	その他	18 生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産				0
						0
	19 特別の積立金から生産者積立金への繰入額					0
	20 調整積立金から生産者積立金への繰入額					0
	21 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額					0
	22 生産者積立金に係わる運用果実		688,591	0	0	688,591
	23 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入額					0
	24 生産者補給金交付額21を含む			0		0
	25 生産者積立金からの借入金返済額					0
	26 その他資金からの繰入による借入金返済額 (ほか債務減免額)					0
	27 生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額					0
	28 特別の積立金から生産者積立準備金への繰入額					0
	29 生産者積立準備金に係わる運用果実					2,891,910
	30 生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額					0
	31 生産者積立準備金返還額					0
IV 期 末 残 額	32 生産者積立金 (1+8+19+20+21+22+23-24-25-27)		296,509,509	3,030,450	4,635,000	304,174,959
	33 生産者積立準備金 (2-7+27+28+29-30-31)					622,063,766
	内	34 生産者の負担金充当分				397,684,441
		35 都道府県の生産者積立助成金充当分				224,379,325
		36 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分				0

ケ. 特別の積立金造成状況

(ア) 特別の積立金（黒毛和種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		0	—	—	0	
増	積 立 金	0	—	—	0	
	運 用 益	0	—	—	0	
加	小 計	0	—	—	0	
減	価格安定事業勘定へ繰入	0	—	—	0	
	小 計	0	—	—	0	
期 末 残 高		0	—	—	0	

(イ) 特別の積立金（乳用種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	
増	積 立 金	—	0	—	0	
	運 用 益	—	0	—	0	
加	小 計	—	0	—	0	
減	償還円滑化積立金へ繰入	—	0	—	0	
	小 計	—	0	—	0	
期 末 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	

コ. 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

区 分		平成25年度			備 考
			乳用種	乳交雑種	
期首の借入金残額		—	0	—	0
期首の償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
積立金実績	償還機 構	—	0	—	0
	都道府県	—	0	—	0
	円 生 産 者	—	0	—	0
	滑 生産者団体	—	0	—	0
合 計		—	0	—	0
全国協会への償還額		—	0	—	0
運 用 益		—	0	—	0
当 期 借 入 金		—	0	—	0
期末償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
期末の借入金残高		—	0	—	0

サ. 生産者補給交付金交付状況

(単位：円、頭、人)

区 分			保証基準価格の品種区分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計	
平成24年度	第4四半期	平成25年 1月1日 ～	交付対象	販 売	0	19	0	19	
			頭 数	保 留	0	0	0	0	
			①	合 計	0	19	0	19	
	第4四半期	平成25年 3月31日	② 生産者補給金単価			10,600			
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)			201,400		201,400	
			交 付 対 象 生 産 者 数			1		1	
	平成25年度	第1四半期	平成25年 4月1日 ～	交付対象	販 売	0	13	0	13
頭 数				保 留	0	0	0	0	
①				合 計	0	13	0	13	
第1四半期			平成25年 6月30日	② 生産者補給金単価			1,700		
				③ 生産者補給金交付額 (①×②)			22,100		22,100
				交 付 対 象 生 産 者 数			1		1
第2四半期		平成25年 7月1日 ～	交付対象	販 売	0	0	0	0	
			頭 数	保 留	0	0	0	0	
			①	合 計	0	0	0	0	
		第2四半期	平成25年 9月30日	② 生産者補給金単価			0		
				③ 生産者補給金交付額 (①×②)			0		0
				交 付 対 象 生 産 者 数			0		0
				第3四半期	平成25年 10月1日 ～	交付対象	販 売	0	0
頭 数	保 留	0	0			0	0		
①	合 計	0	0			0	0		
第3四半期	平成25年 12月31日	② 生産者補給金単価				0			
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)				0		0	
		交 付 対 象 生 産 者 数				0		0	
合 計		交付対象	販 売	0	32	0	32		
		頭 数	保 留	0	0	0	0		
		①	合 計	0	32	0	32		
	②生産者補給金単価(平均)		—	—	—				
	③生産者補給金交付額 (①×②)		0	223,500	0	223,500			
	交付対象生産者数 (のべ)		0	2	0	2			

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 20,437,554 円

① 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 16,064,424 円

当制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる業務の充実と、事務委託先との対象子牛の個体登録、個体識別及び保留確認等の業務の委託契約により適正かつ円滑な実施に努めた。

また、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先に対し調査指導を行った。

② 指定協会運営体制支援事業 4,373,130 円

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保を図るため、農畜産業振興機構より財政支援を得て運営体制の強化を図った。

(2) 肉用牛繁殖経営支援事業 6,248,244 円

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いため資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有している。

このため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の 8 割水準を下回った場合に差額の一部を補てんすることにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図るための事業。

肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合、当該四半期に販売または自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の 3/4 を交付する。

その他の肉専用種については平成 25 年度第 1 四半期～第 2 四半期連続して支援交付金の発動があった。

(1) 対象品種と発動基準

対 象 品 種	黒 毛 和 種	褐 毛 和 種	その他の肉専用種
発 動 基 準	4 1 万円	3 7 万円	2 7 万円

(2) 交付金単価：発動基準と平均売買価格（ただし、平均売買価格が保証基準価格を下回る場合は保証基準価格）の差額の 3/4

(3) 対象子牛：肉用子牛生産者補給金制度の契約肉用子牛

(4) 事業実施期間：平成 25 年度～平成 27 年度（3 年間）

(5) 平均売買価格 (単位：円)

区 分 \ 品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
平成 25 年 4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	471,400	411,100	244,000
平成 25 年 7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	494,600	427,500	209,400
平成 25 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	538,900	447,000	320,400
平成 26 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	542,500	459,200	278,800

※ 平均売買価格は、農林水産大臣の指定する家畜市場における指定肉用子牛の四半期毎の平均価格。

(3) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業

0 円

県内の肉用子牛価格の低迷を緩和するため、規格雌子牛（黒毛和種）の標準取引価格が、公社の定めた保証基準価格（平成23年3月までは291,000円、4月からは292,000円）を下回った時に生産農家に補てん金を交付し、肉用牛繁殖農家の経営安定に資するための事業である。

平成25年は、全期間を通じて、標準取引価格が保証基準価格を上回って推移したため、補てん金の発動はなかった。

(1) 平成25年の取引状況

(単位：円)

区 分			沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業 に係る規格子牛価格と補てん金単価				
年度	品種区分	月 別	県内指定 市場雌雄 平均価格	標準取引 規格雌子 牛価格A	保証基準 規格雌子 牛価格B	差額 C=B-A	補てん単価 D=C×0.9
平成 25 年 度	黒 毛 和 種	1 月	431,593	394,412	292,000		0
		2 月	433,398	402,772	292,000		0
		3 月	444,377	405,424	292,000		0
		前年度 第4四半期	436,456	400,869	292,000		0
		4 月	460,152	420,917	292,000		0
		5 月	461,122	420,254	292,000		0
		6 月	484,487	437,033	292,000		0
		第1四半期	468,587	426,068	292,000		0
		7 月	484,460	442,527	292,000		0
		8 月	491,266	453,966	292,000		0
		9 月	488,550	456,863	292,000		0
		第2四半期	488,092	451,115	292,000		0
		10 月	502,616	473,338	292,000		0
		11 月	529,442	494,999	292,000		0
		12 月	542,332	511,635	292,000		0
		第3四半期	524,796	493,324	292,000		0

○保証基準価格：平成24年4月から292,000円。

○標準取引価格：平成22年3月までは指定家畜市場（南部、伊江村、宮古、八重山、今帰仁、黒島）で算定。

○標準取引価格：指定家畜市場で取引された240kg～310kgの雌子牛の加重平均価格。平成22年4月からは県内全家畜市場の雌規格子牛価格の加重平均をとる方式へ移行。

(4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛肥育経営は、素牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費用に占める素畜費の割合が大きいことから、素畜価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念される。

本事業は、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補填金を交付することにより肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資することを目的に実施した。

また、第1業務対象年間(H22～H24)の終了に伴い基金無事戻し作業を行った。

(1) 24年度分(農畜産業振興機構)補填額261,500円

平成24年度分：契約生産者農家数 36戸

(平成25年2月～3月)

個体登録申込頭数 590頭

肥育牛積立頭数 545頭

基金造成額 28,884,000円

(農畜産業振興機構 21,663,000円、県 348,800円、生産者 6,872,200円)

補填金交付実績

区 分	品種区分	交付対象		肥育牛補填金	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
平成24年 2月期	交 雑 種	1	1	78,300	78,300
平成24年 3月期	交 雑 種	1	4	45,800	183,200
合 計		2	5		261,500

(2) 第1業務対象年間(平成22年4月～平成24年3月)無事戻し基金

区 分	基金造成額	補填金交付	基金残額 (無事戻し残額)
肉専用種	625,664,749	339,001,200	286,663,549
交 雑 種	1,320,000	490,000	830,000
乳 用 種	1,320,072	381,000	939,072
合 計	625,664,749	339,872,200	288,432,621

①基金無事戻し基金実績(肥育安定基金)：288,432,621円

(農畜産業振興機構 216,324,466円、県 3,704,596円、生産者 68,403,559円)

(3) 25年度分(農畜産業振興機構)補填額 454,700円

平成25年度：契約生産者農家数 36戸

(平成25年4月～1月)

個体登録申込頭数 2,290頭

肥育牛積立頭数 2,569頭

基金造成額 185,472,000円

(農畜産業振興機構139,104,000円、県2,312,100円、生産者44,055,900円)

補填金交付実績

区 分	品種区分	交付対象		肥育牛補填金	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
平成25年 7月期	交 雑 種	1	1	65,400	65,400
	乳 用 種	1	4	43,200	172,800
平成25年 9月期	乳 用 種	1	3	45,500	136,500
平成25年10月期	交 雑 種	1	2	40,000	40,000
計	交 雑 種	2	3		145,400
	乳 用 種	2	7		309,300
合 計		4	10		454,700

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（推進事務費） 16,020円

平成24年度（H25. 2～3）に販売した肥育牛に対する補填金交付関連業務を行なった。

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（推進事務費） 4,782,881 円

平成25年度（H25. 4～H26. 3）肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るため、推進会議等を開催するとともに、調査及び指導、事業の普及・啓発活動、肥育牛の個体登録・販売等の事務を推進した。

3 養豚経営安定対策事業

320,877,000 円

養豚経営安定対策事業は、22年度より全国一律基準となり、23年度からは独立行政法人農畜産業振興機構からの直接交付方式となる。

平成25年度より、粗収益が生産コストを下回った際その差額の8割を補てんする事業。

【平成24年度】

24年度事業については、第4四半期（平成25年1月から3月）の補てん金支出が、平成25年6月とすることから、補てん金のみについて計上。

月別	公社補助金			補てん頭数 (出荷実績)	補てん金額	補てん単価 (円/頭)
	納付対象 頭数	補助単価 (円/頭)	補助金額			
1	25,432	48	1,220,736	25,432	108,086,000	4,250
2	24,861	48	1,193,328	24,861	105,659,250	4,250
3	21,176	48	1,016,448	21,176	89,998,000	4,250
未達成	7,753	48	372,144			
合計	79,222		3,802,656	71,469	303,743,250	

【平成25年度】

320,877,000 円（公社補助金）

県内における豚枝肉生産量は28,573トン（対前年比93.4%）、と畜頭数332,258頭（対前年比94.7%）と前年度を下回った。

平成25年度は、補填金の発動はなかった。

月別	対象頭数	補填金		負担金単価（円/頭）			負担金総計
		単価	補填金額	生産者 890円	県 61円	公社 49円	
4	27,393	0	0	24,379,770	1,670,973	1,342,257	27,393,000
5	26,752		0	23,809,280	1,631,872	1,310,848	26,752,000
6	23,839		0	21,216,710	1,454,179	1,168,111	23,839,000
7	25,022	0	0	22,269,580	1,526,342	1,226,078	25,022,000
8	27,504		0	24,478,560	1,677,744	1,347,696	27,504,000
9	24,644		0	21,933,160	1,503,284	1,207,556	24,644,000
10	26,822	0	0	23,871,580	1,636,142	1,314,278	26,822,000
11	26,279		0	23,388,310	1,603,019	1,287,671	26,279,000
12	31,659		0	28,176,510	1,931,199	1,551,291	31,659,000
1	25,759	0	0	22,925,510	1,571,299	1,262,191	25,759,000
2	23,349		0	20,780,610	1,424,289	1,144,101	23,349,000
3	20,255		0	18,026,950	1,235,555	992,495	20,255,000
未達成	11,600			10,324,000	707,600	568,400	11,600,000
合計	320,877		0	275,256,530	18,865,897	15,722,973	320,877,000

*と畜実績は与那国を含まない。

肉豚価格安定対策事業年度別実績の推移

年 度	肉豚価格安定対策事業			と 畜 実 績		
	補てん頭数 (頭)	補てん金額 (千円)	補てん単価/頭 (円/頭)	と畜頭数 (頭)	枝肉重量 (kg)	平均枝重 (kg/頭)
15	142,954	336,714	2,355	374,173	29,402,953	78.6
16	55,447	93,351	1,684	356,504	27,459,733	77.0
17	38,712	30,894	798	324,134	25,096,838	77.4
18	32,789	18,869	575	326,613	25,265,363	77.4
19	0	0	0	325,003	24,635,753	75.8
20	161,786	258,772	1,599	324,269	24,614,715	75.9
21	301,088	461,490	1,533	354,268	27,290,602	77.0
22	312,963	258,017	824	366,349	28,856,058	78.8
23	329,767	447,919	1,358	353,315	28,201,328	79.8
24	322,041	788,454	2,448	350,824	28,573,869	81.4
25	0	0	0	332,258	26,713,543	80.4
合計	1,375,506	1,906,026	1,386	3,104,628	240,823,343	77.6

*と畜実績は与那国を含まない。

* 昭和62年度～平成12年度：豚価安定対策事業

* 平成13年度～平成19年度：肉豚価格安定対策事業（地域肉豚生産安定基金造成事業）

* 平成20年度～平成21年度：肉豚価格安定対策事業（肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業）

* 平成22年度～平成25年度：養豚経営安定対策事業

2. 家畜・畜産物の生産振興、流通合理化、消費促進事業

(6) 沖縄食肉価格安定等特別対策事業 4,122,704,488 円

1) 食肉等流通合理化施設整備事業 0 円

2) 肉用牛生産基盤改善対策事業 1,875,730,000 円

①牛専用飼料製造施設整備事業 1,732,048,000 円

配合飼料コスト低減、新鮮飼料の供給及び防疫体制の確立を目的とし、牛用配合飼料を製造する施設の整備を行う。(平成24～25年度 2カ年事業)

事業実施団体

沖縄県飼料協業組合

平成25年度実施内容

牛専用飼料製造施設、ボイラー燃料LPGタンク、フォークリフト4台

②優良肉用牛生産対策 143,682,000 円

県内の肥育素牛及び肥育牛生産者の生産技術の確立を促進し、県内肉用牛生産基盤の強化を図ることを目的として次の事業をした。

ア 優良肉用牛生産推進 2,400,000 円

県内優良肉用牛生産基盤の拡大及び肉質向上を推進するため、肉用牛の遺伝的能力評価値(育種価)の普及・利用のために繁殖母牛の交配シュミレーション等により、遺伝的能力評価値(育種価)普及推進及び肉用牛繁殖農家に対し講習会を実施した。

イ 優良遺伝繁殖素牛保留事業 119,415,500 円

育種価情報を活用した優良繁殖雌牛群の整備を図る目的で、期待育種価又は期待の期待育種価の高い優良遺伝繁殖素牛(枝肉重量B以上かつ脂肪交雑H)の県内保留を行った農家に対し保留奨励金を交付した。(奨励金単価:120,000円/頭)

平成25年度 優良遺伝繁殖素牛保留事業保留奨励金交付実績

(単位:戸、頭、円)

No.	管轄農協名	農家戸数	交付頭数	交付金額
1	J Aおきなわ北部地区畜産振興センター	34	68	8,160,000
2	J Aおきなわ中部地区畜産振興センター	94	133	15,960,000
3	J Aおきなわ南部地区畜産振興センター	36	55	6,600,000
3	J Aおきなわ宮古地区畜産振興センター	193	258	30,960,000
4	J Aおきなわ八重山地区畜産振興センター	198	351	42,120,000
5	J Aおきなわ久米島支店	36	58	6,960,000
6	J Aおきなわ伊江支店	37	60	7,200,000
7	J Aおきなわ伊是名支店	1	3	360,000
8	J Aおきなわ伊平屋支店	3	5	600,000
合 計		632	991	118,920,000

優良遺伝繁殖素牛保留事業に係る業務の一部を沖縄県農業協同組合へ委託した。(委託費:500円/頭)

対象頭数	委託費額
991	495,500

ウ 県内肉用子牛導入・肥育促進事業

21,866,500 円

肥育技術向上を図る目的で、県内産肥育素牛を導入または保留し、公社が定めた肥育モデルに即して肥育し、肥育成績等の情報を提供する旨の契約を締結した場合に導入促進奨励金を交付した。（奨励金単価：16,000円／頭）

平成25年度 県内肉用子牛導入・肥育促進事業導入促進奨励金交付実績

（単位：戸、頭、円）

No.	管轄農協名	農家戸数	交付頭数	交付金額
1	JAおきなわ 委託分	北部地区畜産振興センター	3	656
2		中部地区畜産振興センター	2	123
3		八重山地区畜産振興センター	1	42
4	JAおきなわ 本店（肥育センター）	7	520	
合 計		13	1,341	

県内肉用子牛導入・肥育促進事業に係る業務の一部を沖縄県農業協同組合へ委託した。但し、JAおきなわの所有する奨励金交付対象牛は除く。（委託費：500円／頭）

対象頭数	委託費額
821	410,500

3) 肉豚生産基盤改善対策事業

201,896,304 円

① 養豚施設等総合整備事業

155,560,000 円

肉豚の生産性向上を図るため、畜舎等の共同利用施設及び生産性の向上に資する機器等の整備に要する経費を補助する。

平成25年度実績

(単位：円)

事業実施団体	整備機器	数量	事業費	補助金額
株式会社沖縄県食肉センター（数久田）	家畜人工授精施設	1 式	46,750,000	42,074,000
株式会社沖縄県食肉センター（辺名地）	離乳子豚育成装置	48台	34,000,000	30,598,000
株式会社沖縄県食肉センター（国頭）	離乳子豚育成装置	50台	47,000,000	42,298,000
農業生産法人有限会社北国ファーム	実施設計	1 式	18,500,000	16,650,000
農業生産法人株式会社福まる農場	実施設計	1 式	26,600,000	23,940,000

③養豚生産総合支援対策

46,336,304 円

ア 県産豚肉県外移出

34,296,304 円

県産豚肉の県内で消費されず、恒常的に余剰となる部位（ロース、もも、うで）を県外へ移出する場合、それに要する経費の一部を補助し、県内における豚肉需給の安定化を図る事業。

平成25年度は、換算頭数で45,607頭、34,296,304円の補助をおこなった。

平成25年度実績

(単位：kg、円、頭)

月	補 助 対 象 3 部 位				補助金額	換算頭数
	ロース	も も	う で	計		
4	128,305	179,078	131,984	439,367	7,029,872	9,348
5	133,300	188,030	138,196	459,526	7,352,416	9,777
6	119,692	166,588	122,699	408,979	6,543,664	8,702
7	115,746	129,560	84,686	329,992	5,279,872	7,021
8	27,676	33,510	15,225	76,411	1,222,576	1,626
9	0	0	536	536	8,576	11
10	118,016	165,012	115,548	398,576	6,377,216	8,480
11	13,166	9,181	7,785	30,132	482,112	641
12	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
計	655,901	870,959	616,659	2,143,519	34,296,304	45,607

* 補助単価：1 kg 当たり16円

* 1 頭当たり部分肉量：47 kg

イ 優良種豚導入円滑化支援

12,040,000 円

高品質で斉一性のある肉豚生産の確立を推進するため、優良種豚導入に係る経費の一部を補助する。

平成25年度実績

(単位：頭、円)

事業実施団体	導入種豚（雌雄）	頭数	事業費	補助金額
株式会社沖縄県食肉センター	ハイブリッド豚（雄）	3	1,615,743	420,000
	ハイブリッド豚（雌）	25	9,714,400	3,500,000
	ランドレース（雄）	1	285,583	140,000
	ランドレース（雌）	14	3,261,440	1,960,000
農業生産法人有限会社我那覇畜産	ハイブリッド豚（雄）	3	1,284,783	420,000
	ハイブリッド豚（雌）	40	8,472,360	5,600,000
合 計		86	24,634,309	12,040,000

*補助率：導入経費の2/3以内。ただし、1頭あたり140千円を上限。

4) 離島畜産活性化施設整備事業

1,998,281,000 円

離島地域を支える重要な産業である肉用牛等の生産振興及び食肉生産の安定を図るため、離島地域における肉畜生産規模に応じた衛生的な食肉処理施設整備を行う。

平成25年度は八重山食肉センターを実施（平成24～25年度 2カ年事業）

事業実施団体

株式会社 八重山食肉センター

平成25年度実施内容

食肉処理施設の整備

5) 需要開拓プログラム推進事業

46,797,184 円

県産食肉のさらなる需要拡大と県内畜産業の振興を目的に策定された「需要開拓プログラム」を着実に実行し、県内、県外および海外での県産食肉の需要拡大を図る。

平成25年度実施内容

(1) 牛肉・豚肉・鶏肉の需要開拓対策

- ①アンブレラブランドの確立
- ②パートナーシップ協定の締結
- ③展示商談会への出展支援
- ④県外量販店フェア
- ⑤県外飲食店フェア
- ⑥加工品開発（ドライエイジングビーフ）

(2) 県産食肉の海外プロモーション

- ①将来性のある市場調査
- ②量販店・飲食店でのフェア開催

(3) 畜産型食育プログラムの創出と需要開拓

(4) 畜産型テーマパークの整備に向けた調査

(5) 各種情報発信のための広報事業

- ①オフィシャルサイト「うちなー美味肉紀行」拡充・検証
- ②料理教室の開催
- ③新聞・情報誌への掲載

3. 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業

22,115,496 円

(7) 家畜改良促進事業

0 円

1) 全国畜産共進会助成事業

0 円

5年ごとの祭典である全国和牛能力共進会に本県から出品する場合に要する経費。

(8) 「畜産物需給総合調整事業

22,115,496 円

1) 県産食肉等消費促進対策事業

20,115,496 円

県内で生産された食肉や鶏卵等を販売する事業者が行う消費促進活動に対し、その経費の一部を助成した。また11月に「まーさんフェスティバル」2月に「まーさん市場」を開催した。

〔主な販促活動内容〕

- ・ 県産和牛肉の販売促進事業の実施：JAおきなわ
販促資材の作製 1,167,700 円
広報活動
県外量販店における販促キャンペーン
- ・ 県産和牛試食会の実施：共栄ミート 1,194,000 円
県内量販店における販促キャンペーン
- ・ 石垣牛の販促活動：石垣牛肥育部会 847,000 円
広報活動（ラジオ・新聞・TV）
「ゆんた君」の商標登録
プロ野球「千葉ロッテマリーンズ」、サンマリノ駐日大使への石垣牛贈呈
- ・ 宮古牛の販促活動：フジ冷凍 615,000 円
離島フェア出展
- ・ 宮古牛の販促活動：宮古牛まつり実行委員会 373,500 円
「宮古牛まつり」出展
- ・ 「県産たまごの販促活動」の実施：養鶏協会 932,900 円
「エッグの日」イベント開催
いい肉の日、まーさん市場への出展
- ・ 「まーさんフェスティバル」の実施：畜産振興公社 5,000,000 円
(沖縄県畜産共進会、山羊フェスティバルと同時開催)
概要：沖縄県の畜産について、広く県内消費者へ知ってもらうため、
家畜や生産者と消費者が直接関わり合えるようなイベントを実施。
開催期日：平成25年11月9日（土）
開催場所：南部家畜市場
主な内容：県産食肉及び加工品の試食・販売、畜産関係団体によるパネル展示
炭火七輪BBQコーナーの設置、乳搾り体験、ふれあいスケッチ等。
- ・ 「まーさん市場」の実施：畜産振興公社 7,000,000 円
(おきなわ花と食のフェスティバルと同時開催)
概要：県産食肉及び加工品の良さを、県内消費者へ幅広くPRする。
開催期日：平成26年2月1日（土）～2日（日） 2日間
開催場所：奥武山公園／セルラーパーク側特設会場
主な内容：県産食肉及び加工品の試食・実演販売、講演会やパネルの展示
まーさんキャラクターコンテストや各種イベントの実施。

2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金

2,000,000 円

沖縄県産農林水産物の消費・需要の拡大及び生産振興を図ることを目的として設立された沖縄県農林水産物販売促進協議会及び沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会に対する負担金。

4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業

(9) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業

448,405,766円

本県の肉用牛は、農業の基幹部門として極めて重要な作目となっているが、その生産の主体は本県の離島地域における子牛生産および域外供給となっている。そのため、島嶼性からくる生産不利条件の緩和を図る必要があるとともに、近年の生産者の高齢化や担い手不足に対処することで、安定的な肉用牛経営の実現を図るための事業である。

(1) 事業内容

①肉用牛ヘルパー推進

肉用牛の組織的な生産活動を推進し、労働負担の軽減を図るため、肉用牛ヘルパー利用組合等、肉用牛互助組織の活動経費に対し助成する。

②肉用牛振興推進指導

肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための会議の開催、先進事例の調査、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導等を行う。

③離島等及び山振地域における肉用牛推進

各家畜市場において、島外の購買者に対する購買助成、島外の子牛生産者に対する島外出荷助成および一定条件で子牛を出荷した場合に優良子牛出荷助成を行う。

④地域の特色ある肉用牛生産推進指導

離島等及び山振地域における肉用牛推進の事業を円滑に実施するための会議の開催、推進指導等を行う。

(2) 事業実績

事業名	沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業				合計
	①肉用牛ヘルパー推進	②肉用牛振興推進指導	③離島等及び山振地域における肉用牛推進	④地域の特色ある肉用牛生産推進指導	
肉用牛集団等			※		
宮古和牛ヘルパー利用組合	8,501,472				8,501,472
久米島和牛ヘルパー組合	13,234,587				13,234,587
南部肉用牛ヘルパー組合	12,838,120				12,838,120
石垣島肉用牛ヘルパー組合	89,447,436				89,447,436
伊江村肉用牛ヘルパー組合	22,840,740				22,840,740
北部肉用牛ヘルパー利用組合	13,408,759				13,408,759
黒島肉用牛生産組合	7,808,523				7,808,523
与那国肉用牛ヘルパー組合	5,620,764				5,620,764
沖縄県農業協同組合			268,045,650		268,045,650
沖縄県畜産振興公社		5,285,232		1,374,483	6,659,715
計	173,700,401	5,285,232	268,045,650	1,374,483	448,405,766

※ 離島等及び山振地域における肉用牛推進

肉用牛集団等	離島等及び山振地域における肉用牛推進				計
	離島等子牛流通活性化	離島等子牛出荷促進	優良子牛適正出荷推進	子牛流通活性化推進	
沖縄県農業協同組合	241,386,600	5,181,000	19,478,000	2,000,050	268,045,650

(10) 畜産経営技術改善指導事業 2,789,164 円

この事業は、畜産経営体の経営・生産技術の高度化を図るため、支援指導体制の確立、専門家による支援指導、畜産経営に必要な関係情報の提供等を行う事業であり、事業の内容並びに実施状況は次のとおりである。

ア. 指導事業

(ア) 畜産コンサルタント団の設置

総括畜産コンサルタント1人、畜産コンサルタント4人、非常勤畜産コンサルタント15人、計20人

(イ) 個別支援指導

畜産経営体等からの要請内容に応じて畜産コンサルタント団を編成し、畜産農家に対して総合的な経営診断分析を行い、畜産経営技術の高度化を図り、生産性の向上並びに所得の高い安定した経営体を確立するための個別支援・指導を行った。

個別支援指導実績

個別指導内容	畜 種 別				
	肉用牛	酪 農	養 豚	採卵鶏	計
総合診断指導	5 件	2 件	1 件	0 件	8 件
部門診断指導	14 件	1 件	2 件	0 件	17 件
計	19 件	3 件	3 件	0 件	25 件

イ. 事業推進

(ア) 地域支援指導

①講習会の開催：4回（名護市3回、うるま市1回）

内 容：①肉用牛経営における記録・記帳及び経営実績の集計・分析について ②肉用牛経営における経営実績の把握及び経営分析について ③肉用牛繁殖経営診断結果について ④決算書作成に向けた肉用牛経営実績の取りまとめについて ⑤肉用牛の生産性向上のための飼養管理技術について ⑥eラーニングシステムについて⑦その他

参加人数：延べ67人

(イ) 畜産経営関係情報のホームページによる提供

厳しい畜産環境の中で畜産経営を発展させるためには、的確で豊富な情報を入手し、経営に役立てていくことが大切である。

本事業において畜産経営に関する情報をインターネットのホームページで提供した。

(ウ) 会議・研修・その他

①県内地域協議会等への出席：3回（参加人数4人）

②全国会議への出席：1回（参加人数2人）

③研修会等への参加：1回（参加人数1人）

④畜産経営診断事例集の配布：1回（55箇所へ配付）

⑤畜産経営ハンドブックの配付：1回（40箇所へ配付）

(11) 畜産特別資金推進指導事業 2,355,319 円

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、生産者団体、金融関係団体、畜産指導団体をもって構成する畜産経営改善推進協議会を開催し統一的な指導方針のもとに融資機関に対する指導、並びに借受農家の経営分析等を行って濃密指導を行った。

ア. 畜産特別資金借受戸数及び指導対象農家戸数

資 金 名	借受者戸数	のべ総指導件数	うち濃密指導
大家畜経営活性化資金	3戸	3件	0戸
畜産経営維持緊急支援資金	22戸	25件	3戸
大家畜特別支援資金	1戸	1件	0戸
計	26戸	29件	3戸

イ. 協議会等の開催

(ア) 県推進協議会の開催 : 1回(11人)

(イ) 専門委員会の開催 : 3回(延べ48人)

ウ. 借入者の進捗状況調査の実施

畜産特別資金借受者の平成25年12月末借入残高調査を実施した。

畜産特別資金借受者の借入残高調査 : 1金融機関(26戸)

エ. 経営改善の定期的な実績点検の実施

借受者の経営改善計画の達成度及び問題点の早期把握と改善対応に役立てるため、年2回の実績点検を実施し、日常的に生産技術データや借受者の収入・支出状況の把握に務めた。

畜産経営維持緊急支援資金及び大家畜特別支援資金の借受者23戸

(12) 貸付事業指導等事業 533,000 円

畜産近代化リース協会より畜産機械・施設等を借り受けている農家を対象に借り受け機械・施設等の確認及び管理状況の調査ならびに適正な利用について技術指導を行った。また、当事業借受け者の新規開拓のための事業説明会を開催し、当事業の普及・啓発を図った。

ア. 貸付機械施設の確認等に係る調査・技術指導事業

①貸付事業指導等事業推進会議の開催 : 1回開催(参加人数7人)

②調査・指導農家等戸数及び調査件数 : 18農場(28施設機械の調査指導)

イ. 新規開拓に係る調査事業

①当事業借受け者の新規開拓のための調査等 : 3回実施(参加人数146人)

(13) 畜産担い手育成総合整備事業 3,499,287 円

土地条件等からみて、今後とも畜産生産地として安定的な発展が見込まれる久米島町において、当事業参加予定肉用牛農家を対象にした経営概況の調査並びに飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備計画等の策定調査を実施し、畜産担い手育成総合整備事業の実施及び地域の実情に応じた生産性の高い畜産経営の確立に寄与した。

ア. 肉用牛経営概況調査:肉用牛農家15戸

イ. 経営改善計画の作成:肉用牛農家15戸

内容:①粗飼料生産計画及び飼料給与計画 ②肉用牛生産出荷計画 ③事業資金計画 ④資金借入及び償還計画 ⑤経営収支計画 ⑥資金運用計画 ⑦ふん尿処理計画 ⑧施設整備計画 ⑨労働時間計画 ⑩その他

(14) 沖縄県畜産共進会開催に係る委託事業 2,520,000 円

当事業は、沖縄県畜産共進会協議会からの委託事業で、当協議会の庶務ならびに

平成25年度第39回沖縄県畜産共進会の企画、運営に関する実務を行った。具体的な事業内容は次のとおりである。

ア. 沖縄県畜産共進会運営委員会等の開催:5回開催

(ア)運営委員会:4回(4月25日、8月15日、10月25日、2月10日)開催

(イ)審査・測定主査会議:1回(9月13日)開催

イ. 沖縄県畜産共進会協議会総会の開催:平成25年6月14日(金)

ウ. 平成25年度第39回沖縄県畜産共進会の開催

(ア)対象地域:県内全地区(北部、中部、南部、宮古、八重山)

(イ)枝肉部門:(肉牛:黒毛和種去勢)

①開催年月日:平成25年9月30日～10月5日

②開催場所:南城市大里

③出品頭数:30頭

(ウ)種畜部門:(肉用牛・乳用牛・種豚)

①開催年月日:平成25年11月8日(金)～9日(土)

②開催場所:糸満市武富

③出品頭数:肉用牛42頭、乳用牛27頭、種豚26頭、計95頭

エ. その他沖縄県畜産共進会に関すること

(15) 家畜防疫互助基金造成等支援事業 101,010円

本事業は、ワクチン接種を行わない防疫体制に備えて、口蹄疫や豚コレラ等の伝染病の発生時に、飼養牛・豚のとう汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組みに国(農畜産業振興機構)が支援し、家畜防疫対策の強化を図るための事業である。

平成24年度から平成26年度までの3年間の事業実施期間で実施され、互助基金の造成推進を図った。

①家畜防疫互助基金の造成(平成25年度分)

ア. 豚互助基金

	24年度	25年度	26年度	合計
基金造成額(円)	7,407,495	0		7,407,495
契約農家戸数(戸)	38	0		38
契約頭数	繁殖用雌豚(頭)	0		12,909
	繁殖用雄豚(頭)	0		708
	肥育豚(頭)	0		103,491
	合計(頭)	0		117,108

イ. 牛互助基金

	24年度	25年度	26年度	合計
基金造成額(円)	13,079,820	101,010		13,180,830
契約農家戸数(戸)	1,653	17		1,670
契約頭数	肉用牛(頭)	435		53,020
	乳用牛(頭)	0		4,010
	合計(頭)	435		57,030

②家畜防疫互助基金支援事業（推進指導事務費） 984,067 円

口蹄疫や豚コレラ等の伝染病が万一発生した場合、飼養する牛及び豚のとう汰や殺処分に伴う損失を緩和するため、畜産農家が自ら積立てを行い、発生時の損害を互助補償する仕組みに国（農畜産業振興機構）が支援を行うことで、伝染病の侵入に備えた事業の普及啓蒙及び畜産農家の加入推進、委託先へ推進指導、連絡調整等を行った。

(16) 地域自衛防疫強化特別対策事業 813,939 円

地域伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動、地域特定疾病対策等の検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施等、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病的発生予防など防疫措置の徹底に努めた。

①地域自衛防疫強化推進対策

畜産農家の初動防疫活動の有効な方策、地域特定疾病対策の啓発・普及等地域自衛防疫強化推進のための検討等を行った。

ア. 実施回数、開催場所

2回（石垣市、那覇市） 延べ23人

イ. 参集範囲

沖縄県畜産課、家畜保健衛生所、農業共済組合、獣医師会、JAおきなわ、市町村、産業動物獣医師、生産者団体・代表者等

ウ. 主な内容

①獣医療を提供する体制及び自主防疫衛生体制の整備・推進

- ・特定家畜伝染病の発生動向と防疫実動演習について
- ・動物用医薬品の適正使用と使用制限の強化について
- ・産業動物医療におけるNOSAIの課題と取組
- ・生産者段階における防疫強化対策について

②H25地域自衛防疫強化特別対策事業について

- ・特定家畜伝染病防疫演習について
- ・生産者段階における防疫強化対策について
- ・その他

②早期緊急自衛防疫対策の推進

畜産農家の初動防疫活動が有効に機能する体制の整備推進を行うため、各地で時期、場所を設定し、生産者段階での防疫演習等を実施した。

ア. 開催日時

平成25年10月9日（水） 13:30～16:30

イ. 開催場所

久米島家畜市場（久米島町）

ウ. 参集範囲

生産者、町関係者、一般見学者、県関係機関 合計126人

エ. 主な内容

畜産農家に対する初動対応の要点や飼養衛生管理に関する技術指導

- ・衛生管理区域の設定（出入口の封鎖、立入禁止看板の設置、消毒証明書の提示）
- ・消毒槽の設置、車両消毒の実施等（踏み込み消毒槽の作成と設置、家畜に触れる器具の消毒）
- ・記録の作成及び保管（立入車両等の記録）

- ・衛生管理区域の衛生状態の確保（連絡体制の確認、牛舎内清掃と消毒）
- ・家畜の健康観察（家畜（牛、山羊）の観察）
- ・埋却地の確保

③地域推進事務

地域段階事業のための企画、実施方策等の推進事務を行った。

5. その他畜産の振興及び指導に関する補完事業

(1) 畜産振興補助事業 5,577,000 円

国、県等の畜産振興諸施策を円滑に推進するため、次の5事業を実施し、地域畜産に対する支援指導体制の強化及び畜産経営技術の高度化、地域畜産に対する消費者等への理解増進及び地域畜産の活性化、馬事・畜産の普及啓発を図った。

- ア. 畜産経営の支援体制の強化を図る事業：5件
- イ. 地域畜産の活性化、安全かつ安全的な食の提供に資するための事業：1件
- ウ. 馬事畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業：0件

(2) 馬事畜産振興協議会への協力

沖縄県馬事畜産振興協議会へ協力し、九州管内の地方競馬の開催に合わせて冠競走を実施し、関係者へ副賞を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

平成25年度事業費（実績）

（単位：千円）

事業名	実績額	
1. 家畜・畜産物の価格安定事業	348,503	
(1) 肉用子牛生産者補給金制度	20,662	
1) 肉用子牛生産者補給交付金交付	224	子牛価格が下落した場合、生産者に補給金を交付
2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業	20,438	肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るための事業
(2) 肉用牛繁殖経営支援事業	6,248	肉用牛繁殖経営基盤の安定を図るための事業
(3) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業	0	雌子牛価格が下落した場合、生産者に補てん金を交付
(4) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業	716	肥育牛の粗収益が生産費を下回った場合、生産者へ補てん金を交付する
(5) 養豚経営安定対策事業	320,877	肉豚価格が下落した場合、生産者に補てん金を交付
2. 家畜・畜産物の生産振興、流通合理化、消費促進事業	4,122,704	
(6) 沖縄食肉価格安定等特別対策事業	0	
1) 食肉等流通合理化施設整備事業		
2) 肉用牛生産基盤改善対策事業	1,875,730	
① 牛専用飼料製造施設整備事業	1,732,048	配合飼料コスト低減、新鮮飼料の供給及び防疫体制の確立を目的とする牛用配合飼料製造施設の整備
② 優良肉用牛生産対策事業	143,682	
ア 優良肉用牛生産推進事業	2,400	肉用牛の遺伝的能力評価の普及（改良協会委託）
イ 優良遺伝繁殖素牛保留事業	119,416	育種価情報を活用した優良繁殖雌牛群の整備
ウ 肉用牛県内保留・肥育促進	21,866	肥育素牛を導入し枝肉成績提供者に奨励金を交付
3) 肉豚生産基盤改善対策事業	201,896	
① 養豚施設等総合整備事業	155,560	肉豚の生産性向上を図るため、施設・機器等の整備に要する経費を補助
③ 養豚生産総合支援対策	46,336	
ア 県産豚肉県外移出	34,296	余剰部位（ロース、もも、うで）の県外移出補助
イ 優良種豚導入円滑化支援	12,040	優良種豚の導入に対して、経費の一部を補助
4) 離島畜産活性化施設整備	1,998,281	離島地域を支える肉用牛等の生産振興及び食肉生産の安定を図るための衛生的な食肉処理施設整備（八重山食肉センター）
5) 食肉等需要開拓対策	46,797	県産食肉の県内、県外および海外での需要拡大を図るための事業の実施
3. 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業	22,115	
(7) 家畜改良促進事業	0	
1) 全国畜産共進会助成金支出	0	全国和牛能力共進会への出展に要する助成金
(8) 畜産物需給総合調整事業	22,115	
1) 県産食肉等消費促進対策事業	20,115	県産食肉等の消費促進活動を実施するのに要する経費に対する助成と、公社が行う販売促進事業
2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金	2,000	県産畜産物の消費拡大を図るための県販売促進協議会等への負担金
4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業	461,899	
(9) 肉用牛経営安定対策補完事業	448,406	子牛の域外販売の促進、組織的な生産活動の推進等（ヘルパー活動）を図り、肉用牛の振興に資する事業
(10) 畜産経営技術改善指導事業	2,789	畜産経営体の経営診断分析を行い、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業
(11) 畜産特別資金等推進指導事業	2,355	畜産特別資金等の借受者に対する経営改善の促進の指導等
(12) 貸付事業指導等事業	533	畜産近代化リース借受施設機械等の確認及び管理状況調査指導事業
(13) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調整委託事業	3,499	畜産担い手育成総合整備事業を実施するための飼料基盤の開発整備、事業計画を策定する事業
(14) 沖縄県畜産共進会の開催に係る受託事業	2,520	沖縄県畜産共進会協議会の庶務及び県畜産共進会を開催する事業
(15) 家畜防疫互助基金造成等支援事業	984	家畜伝染病発生時の互助事業の普及及び互助基金の交付
(16) 地域自衛防疫強化特別対策事業	813	地域自衛防疫活動の普及・啓発を図る事業
総 合 計	4,955,221	

2 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
平成 25 年 4 月 1 日	波平専務理事就任
平成 25 年 5 月 23~24 日 29~30 日	公社事業説明会（北部、中南部、宮古、八重山地区）
平成 25 年 6 月 4 日	平成 24 年度決算監査
平成 25 年 6 月 13 日	平成 25 年度第 1 回理事会 審議事項 1 平成 24 年度事業報告及び決算報告の承認について 2 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務方法書（肉用牛肥育経営安定特別対策事業）の一部改正について 3 肉用牛肥育経営安定特別対策事業に係る手数料について 4 養豚経営安定対策事業に係る公社分積立金の造成について 5 平成 25 年度第 1 回収支予算の補正について 6 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 7 平成 25 年度定時評議員会の開催について
平成 25 年 6 月 28 日	平成 25 年度定時評議員会 審議事項 1 平成 24 年度決算報告の承認について 2 評議員の辞任に伴う補欠選任について
平成 25 年 8 月 20 日	平成 25 年度第 2 回理事会（決議の省略） 審議事項 1 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 2 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 3 平成 25 年度第 1 回臨時評議員会の開催について
平成 25 年 9 月 18 日	平成 25 年度第 1 回臨時評議員会（決議の省略） 審議事項 1 評議員の辞任に伴う補欠選任について 2 理事の辞任に伴う補欠選任について
平成 25 年 9 月 30 日 ～ 10 月 4 日	第 39 回沖縄県畜産共進会 枝肉部門 開催

年 月 日	処 理 事 項
平成 25 年 10 月 2 日	平成 25 年度第 3 回理事会 審議事項 1 沖縄畜産振興支援センター（仮称）の建設について 2 平成 25 年度第 2 回収支予算の補正について 3 公益財団法人沖縄県畜産振興公社の役員と職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について 4 平成 25 年度第 2 回臨時評議員会の開催について
平成 25 年 10 月 10 日	平成 25 年度第 2 回臨時評議員会 審議事項 1 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について 報告事項 1 沖縄畜産振興支援センター（仮称）の建設について
平成 25 年 11 月 8~9 日	第 39 回沖縄県畜産共進会 種畜部門 開催 第 1 回まーさんフェスティバル同時開催
平成 24 年 11 月 29 日	まーさんいい肉の日イベント
平成 26 年 2 月 1～2 日	沖縄県産食肉消費拡大推進事業（まーさん市場） 奥武山総合運動公園
平成 26 年 3 月 28 日	平成 25 年度第 4 回理事会 審議事項 1 平成 25 年度第 3 回収支予算の補正について 2 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務方法書（沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業）の一部改正について 3 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る保証基準価格及び補てん積立金の額の決定について 4 平成 26 年度事業計画及び収支予算について 5 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 6 平成 26 年度第 1 回臨時評議員会の開催について

3 役員の名簿

平成26年3月31日現在

評 議 員

氏 名	所 属 先 役 職 名
山城 毅	沖縄県農林水産部 部長
比嘉 俊昭	沖縄県農業共済組合 組合長理事
上原 裕常	糸満市長
與那嶺 幸人	今帰仁村長
仲田 利美	沖縄県農業協同組合中央会 専務理事
平 良 菊	(社)沖縄県婦人連合会 会長

理事及び監事

公社役職名	氏 名	所 属 先 役 職 名
理 事 長	赤 嶺 勉	沖縄県農林水産部参事監
専 務 理 事	波 平 克 也	沖縄県農林水産部参事
理 事	久 田 裕 島 袋 俊 夫 古 謝 景 春 比 屋 根 方 次 砂 川 博 紀 新 里 重 夫 平 良 隆 山 本 靖 郎	沖縄県農業振興公社 理事長 うるま市長 南城市長 八重瀬町長 沖縄県農業協同組合 代表理事理事長 沖縄県酪農農業協同組合 組合長 沖縄県養鶏農業協同組合 組合長 生活協同組合コープおきなわ 理事長
監 事	安 次 富 均 新 垣 喜 春	沖縄県農業協同組合常務理事 沖縄県町村会事務局長

